

1 集落 1 農場方式 「人の輪・集落の和」を合言葉に (農事組合法人 イーノなかのはま 100)

<法人の概要>

所在地：福井県あわら市中浜地区

設 立：平成18年10月

資本金：917万円 売上高：7,672万円（平成26年）

構成員（議決権）：農業従事者64名（98%）、農地の権利提供者1名（2%）

役 員：12名（うち農作業従事12名）

従業員数：常時雇用者0名、臨時雇用者0名

経営面積：102.2ha（借入102.2ha）

基幹農作業受託面積：5ha

作付作物：米66.3ha、麦34.4ha、大豆28.2ha、そば5.6ha



平地農業地域に広がる約100haの農地



事務所兼倉庫

<営農を開始するまでの状況>

中浜地区は、あわら市の南西部に位置し、ほ場整備事業の完了した水田単作の平地農業地域である。

当地区では、小規模経営の個人農業者が多かったため、平成18年1月、経営所得安定対策を契機として、将来の担い手や営農方針について農家組合を中心に協議を開始。地区内農業者へのアンケートや農家所有の農業機械の調査等を実施の上、地区内農業者等で何度も話し合いを行い、1集落1農場の法人組織として営農することを決定。平成18年10月に「農事組合法人イーノなかのはま100」を設立した。

法人設立にあたっては、個人所有の機械をすべて処分することとし、法人が大型機械を整備した。また、農地については法人へ利用権（10年間）を設定した。

法人設立後も、定期的に理事会等を開催して組織運営体制を整備し、現在は、1農家（他法人に委託）を除いて1集落1農場の法人組織として、約100haの農地の維持管理と安全・安心な農産物の生産を行っている。

<特徴的な取組>

法人内に総務部、営農部、機械施設部、運営・会計監査部を設置し、12名の役員が各部の責任者として部間の調整等を行っている。

農作業については、組合員を8班（1班あたり8名程度）に分け、理事会で決定した出役計画に基づいて班にわりあてしながら行っている。また、作業時期を分散し、機械を有効に使うことで、省力・低コスト化を目指しており、水稲では湛水直播に加え、V字乾田直播も取り入れている。

組合員は、『先祖代々の農地は自分たちの手で守る』という理念の基、ほぼ全員が出役して各自が出来る作業を行うとともに、総会に出席して法人の活動内容や農業施策等について理解を深めている。

法人は、出役時間に応じて組合員に作業料金を支払い、事業利益を出来る限り組合員へ還元するとともに、収穫祭を開催して交流の場を設けるなど、法人と組合員とが一体となって活動するよう努めている。

<今後の農業経営の展開方向>

周辺の農地については、それぞれの集落毎に法人組織等が設立されているため、経営面積の増減は当面はあまりないと思うが、作業受託等の依頼があれば引き受けたと考えている。

24年夏には、乾燥機4基を備えた作業場兼乾燥調製施設を整備した。

機械の更新も必要なので、今後も着実な運営と後継者の育成を行っていきたいと考えている。

<今後法人化を進めようとしている方へのアドバイス>

法人化によるメリットは、信用が上がることで農地の所有が可能となり、集落の農地を自分たちの手で守ることが出来ること。

法人設立にあたっては、リーダーを中心に勢いをもって話し合いを進めることが大切である。また、法人設立後も営農体制をきちんと整備し、着実な運営を行っていくことが大切である。



V字乾田直播による省力化



安全作業を呼びかけ、
貸与したヘルメットと作業服の着用を徹底